

### 第3回 危機管理に対応した水位観測検討会 議事要旨

日 時：平成 29 年 12 月 20 日（水）15:00～17:00

場 所：中央合同庁舎第3号館1階 A会議室

#### 議事要旨

- 電源容量は各地域の日照時間や洪水継続時間といった河川特性に大きく依存するため、洪水継続時間の24時間は目安であり、河川管理者が設置箇所の過去気象データ等を踏まえ、必要な電源容量を定める旨を記載すべきである。
- 精度は製品性能証明の出荷時品質証明として明記すべきである。
- ロガー機能の確保については、洪水時に通信機能障害が生じた場合に、洪水の検証データを得る際に必要となることがあるので、確保することが望ましいが、必要性和コスト等も考慮したうえで、河川管理者が判断する旨を記載すべきである。
- 「雷」、「地震」、「雪」への耐久性能は、機器としての仕様を記載する。
- 「基準高」は、上下流の水位関係や堤内地盤高との関係を把握するために重要であるため、原則として標高を求める。

以上